

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                 |     |        |              |
|----------------|-----------------|-----|--------|--------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスコロネット |     |        |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 2月 1日     |     | ～      | 2025年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)          | 18人 | (回答者数) | 17人          |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 2月 1日     |     | ～      | 2025年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)          | 8人  | (回答者数) | 8人           |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 3日     |     |        |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                                            | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                           | さらに充実を図るための取組等                                                                                        |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 事業所の強みは、子どもたち一人ひとりに寄り添う支援です。個々の特性や成長に合わせた対応を行い、安心できる環境を提供しています。職員が温かく見守りながら、自己表現や社会性を育むサポートを大切にしています。 | 子ども一人ひとりの特性や気持ちを尊重し、安心して過ごせる環境づくりを工夫しています。個別対応を大切にし、丁寧な声かけや成功体験を積み重ねる支援を意識的に行っています。             | 子どもたちに寄り添う支援をさらに充実させるため、個別の成長記録を活用し、支援の質を向上させます。また、職員間で情報共有を強化し、より適切な対応ができるよう研修や振り返りの機会を設けます。         |
| 2 | 事業所の強みは、従業員同士の仲が良く、円滑なコミュニケーションが取れていることです。互いに助け合い、協力しながら業務を進めることで、温かい雰囲気の中で子どもたちに質の高い支援を提供できます。       | 定期的なミーティングや情報共有を徹底し、職員同士が相談しやすい環境を整えています。交流の場を設け、信頼関係を深めることで、円滑な連携を図り、子どもたちにより良い支援を提供しています。     | 職員同士の交流を深めるため、定期的な意見交換会や食事を実施します。お互いの理解を深める機会を増やし、協力しやすい環境を整えることで、より良い支援の提供と職場の雰囲気向上を目指します。           |
| 3 | 事業所の強みは、長期休みの特別プログラムの充実です。水族館や博物館への遠足、水遊びなど、季節を感じながら楽しく学べる活動を取り入れています。貴重な体験を通じて、子どもたちの成長を支援しています。     | 長期休みの特別プログラムでは、子どもたちが楽しみながら学べる体験を意識し、季節や興味に応じた活動を計画しています。また、安全管理を徹底し、安心して参加できるよう職員間の連携を強化しています。 | 長期休みの特別プログラムをさらに充実させるため、子どもたちの興味や成長に合わせた多様な体験活動を企画します。また、保護者や子どもたちの意見を取り入れ、より魅力的で意義のあるプログラムづくりを目指します。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                                                      | 事業所として考えている課題の要因等                                                                             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                              |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 地域や児童館との交流が十分にできていないことが課題です。異なる施設との連携を深め、子どもたちの社会性や新たな体験の機会を増やす必要があります。                         | 地域や児童館との交流ができていない要因は、時間やリソースの不足、調整の難しさが考えられます。また、他施設との連携に対する意識が低いため、積極的な取り組みが不足しています。         | 地域や児童館との交流を促進するため、定期的な連絡や情報共有の場を設け、共同イベントや活動を企画する必要があります。また、職員の意識向上を図り、地域との連携強化に向けた積極的な姿勢が求められます。 |
| 2 | 非常時の対応が課題となっており、緊急時の対応マニュアルの整備や職員の訓練が十分でない状況です。今後は避難訓練やシミュレーションを定期的 to 実施し、安全管理体制の強化を図る必要があります。 | 非常時の対応が弱い要因として、職員の危機管理意識や対応スキルの不足、避難訓練の実施回数の少なさ、対応マニュアルの共有不足が挙げられます。迅速かつ適切に対応できる体制の強化が求められます。 | 非常時の対応強化のため、定期的な避難訓練やシミュレーションを実施し、職員の危機対応力を向上させます。また、対応マニュアルを見直し、全職員が迅速かつ適切に行動できる体制を整えることが重要です。   |
| 3 |                                                                                                 |                                                                                               |                                                                                                   |